

田口佳史さんに問う 【渋沢栄一と論語】



講師

東洋思想研究家
株式会社イメージプラン代表取締役社長

田口 佳史 Yoshifumi Taguchi

変革・革新の時代だからこそ「渋沢と論語」を語りたい

渋沢栄一は明治を代表する実業家で、多数の企業・団体の設立・経営に関わったことから“日本の近代資本主義の父”と評される人物です。『論語』は二千年以上前に編まれた儒家思想の經典で、最も有名な中国古典といえます。生涯を通して「道徳と経済の合一」を説いた渋沢の思想と行動は、『論語』に代表される儒家の經典を自らの血肉となるまで徹底的に読み込み、確立したものだと言われています。

本講座は、渋沢栄一を意識しながら、現代日本の企業社会で求められているダイナミズムとクリエイティブ性の重要性を『論語』の中に探索していきたいと思えます。

田口 佳史

4/8月

18:30-21:30

渋沢栄一の生涯と
論語の精神

1

幕臣として明治維新に遭遇し、官僚、実業家として日本の近代化に大きな功績を残した渋沢栄一の生涯をたどります。特に、幼児期から四書五経を学び、儒家思想を骨の髄まで染みこませた彼が、近代化にあたってその精神をどう具現化していったのかを確認します。

5/27月

18:30-21:30

競争をどうとらえるか

4

健全な競争は、努力の質を高め、創意工夫のもとになります。しかし、勝つこと、執着することが当初の目的を見失わせ、道を逸れてしまうこともあります。真の競争とは、他者との競い合いではなく、自分自身に潜む「内なる敵」との戦いとも言えるでしょう。最後まで自己を見失うことなく、最善を尽くすことの大切さを理解します。

4/22月

18:30-21:30

志を立てること、
学びつづけること

2

立志と学問は、論語の中で主要な論点のひとつです。大きな志を立て、自分を磨くことの重要性、学んだ知識を実践に移し、自分のものとするまで習熟することの意義等々、三千人の弟子を育てたと伝えられる孔子の人材育成論に触れます。

6/10月

18:30-21:30

道徳と経済性を
合一する

5

『論語と算盤』は倫理観を持った経営を謳った書籍であるという考え方がありますが、それは一面に過ぎません。渋沢が論語の中に見いだした「道徳」は、もっと躍動的で創造的な概念を含んでいます。社会のために自己の最善を尽くし切ることによって実現する豊かな経済社会に思いを巡らせます。

5/13月

18:30-21:30

人と人との間で
生きるということ

3

人間関係の問題は、孔子の時代から現代に至るまで多くの人々が直面してきた悩みです。人とどう付き合うか、人間をどう見抜くか、裏切りからどうやって立ち直るか等々、共に苦労人であった孔子と渋沢の心境に思いを寄せてみます。

6/24月

18:30-21:30

人生における
成功とは何か

6

現代社会ほど、幸せの意味を問われている時代はありません。多くの人々が飽食と消費に疲弊し、富や出世に執着することを嫌悪しながら、その呪縛から抜けられないでいます。私達は何を求めて生き、人生を通じて何をしようとしているのでしょうか。総まとめとして、人生の成功とは何かを議論します。

孔子と『論語』

孔子は春秋時代(紀元前6世紀)の中国の思想家で、儒家思想の始祖と言われています。『論語』は孔子の死後その弟子たちが400年かけて編纂した孔子と弟子たちの問答集です。中国のみならず日本の社会や文化の形成に大きな影響を与え、現代にまで読み継がれています。

『論語と算盤』の現代性

渋沢栄一が著した『論語と算盤』は、百年前の書籍ではありますが、社会性の追求と経済性の追求は相反するものではない、という思想に貫かれている点で、きわめて現代的です。渋沢が論語の中に見出したものを考えることで、社会に開かれた存在としての企業、社会の問題を解決するための起業、といった今日的課題を浮き彫りにします。

開 催 概 要

日 程	2019年 4/8、4/22、5/13、5/27、6/10、6/24 (すべて月曜日)
回 数	6回
時 間	18:30-21:30 (3時間)
定 員	25名
会 場	慶應丸の内シティキャンパス
参加費	108,000円 (消費税8%込)
おすすめ したい方	◎老子の思想や考え方を人生やビジネスに役立てたい方 ◎生きる上での哲学や価値観の重要性を認識し、醸成したい方知見を広げたい方

講 師 プ ロ フ ィ ー ル

田口 佳史 (たぐち よしふみ)

1942年東京生まれ。新進の記録映画監督として活躍していた25歳の時、タイ国バンコク市郊外で重傷を負い、生死の境で「老子」と出会う。奇跡的に生還し、以降中国古典思想研究四十数年。東洋倫理学、東洋リーダーシップ論の第一人者。企業、官公庁、地方自治体、教育機関など全国各地で講演講義を続け、1万名を超える社会人教育の実績がある。1998年に老荘思想的経営論「タオ・マネジメント」を発表、米国でも英語版が発刊され、東洋思想と西洋先端技法との融合による新しい経営思想として注目される。

■主な著書

『ビジネスリーダーのための「貞観政要」講義』(光文社)
『孫子の至言』『老子の無言』『論語の一言』(すべて光文社知恵の森文庫)
※慶應MCCで開催された講座の講義内容が書籍になりました(上記4冊)。
『「愉快な人生」を生きる』(サンマーク出版)
『横井小楠の人と思想』(致知出版社)
『なぜ今、世界のビジネスリーダーは東洋思想を学ぶのか』(文響社)
『上に立つ者の度量』(PHP研究所)

FAX申込書 FAX 03-5220-3129

必要事項に記入の上、FAXにてお送り下さい。

※お申し込みの際は末尾のキャンセル規定・諸注意を必ずお読み下さい。
本申込書の受領をもってその内容を承諾いただいたものとみなします。

インターネットでのお申し込みは

<http://www.sekigaku-agera.net/>



参加者

講座名	田口佳史さんに問う【渋沢栄一と論語】	<input type="checkbox"/> agoraメンバーシップに申し込む
会社・団体名		
所属		
フリガナ		
氏名		
住所 (資料送付先)	<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 勤務先 (いずれかにチェックを入れて下さい) 〒	
TEL	-	-
FAX	-	-
e-mail		

支払方法

支払名義	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 法人
支払方法	<input type="checkbox"/> 銀行振込 (振込手数料ご負担下さい) <input type="checkbox"/> クレジットカード

割引制度 (個人申込みのみ)

<input type="checkbox"/> 複数申込割引 下記に他講座名を記入して下さい []
<input type="checkbox"/> 継続受講割引
<input type="checkbox"/> 慶應カード割引

■割引制度(個人) 夕学五十講、クロッシングは慶應カード割引のみ適用
【複数申込割引】一度に複数の講座へお申し込みされた場合、参加費を最大20%割引いたします。ビジネスプログラムとの組み合わせも対象となります。
◆20%割引:108,000円(消費税8%込)以上のagoraおよび知的基盤能力プログラムを複数同時に申し込んだ場合
◆10%割引:上記以外の講座・プログラムを複数同時に申し込んだ場合
【継続受講割引】過去に慶應MCCのプログラム・講座に参加し、終了日より1年以内にお申し込みされた場合、参加費を10%割引いたします。過去に法人で参加された方も、個人で参加される場合は対象となります。
【慶應カード割引】慶應カード会員の方が個人でお支払される場合に限り、参加費を10%割引いたします。慶應カードとは、慶應義塾とクレジットカード会社との提携クレジットカードです。塾員・教職員および学生を対象としています。

■割引制度(法人)

agoraおよびビジネスプログラムへ一度に5名以上派遣される場合、合計人数に応じて参加費を割引いたします。(夕学五十講、クロッシングは対象外)
詳しくは下記までお問い合わせ下さい。

■キャンセル規定・諸注意

キャンセルのお申し出をされた場合、下記規定に基づいてキャンセル料をお支払いいただきます。いかなる場合も、参加費の振込のないことをもってキャンセルとはみなしません。キャンセルの際は必ずご連絡ください。 ◆開講28日前まで：キャンセル料は発生しません。 ◆開講27日～21日前まで：参加費の30%をキャンセル料としてお支払いいただきます。 ◆開講20日～14日前まで：参加費の50%をキャンセル料としてお支払いいただきます。 ◆開講13日前以内：参加費の全額をキャンセル料としてお支払いいただきます。 ◆お申し込み日を含む8日間以内にキャンセルのご連絡をいただいた場合は、開講までの日数にかかわらずキャンセル料は発生しません。 ◆当方の都合でプログラムを中止する場合は全額返金いたします。

個人情報の取扱いについて(必ずお読みください)

ご参加のお申し込みにあたり、お客様から氏名、住所等の個人情報のご提出をお願いしております。以下のサイトをご確認の上、ご同意いただける場合のみ、個人情報の提出をお願いします。また、お申し込みをもって下記にご同意いただいたものとみなします。
<https://www.keiomcc.com/privacy.html>
なお、Webを見ることができない場合、または上記に関するご質問等ございましたら、右記までお問い合わせください。

お問い合わせ先

東京都千代田区丸の内2-5-2 三菱ビル10階
株式会社慶應学術事業会
TEL:03-5220-3111 E-mail:info@keiomcc.com

今後慶應MCCより各種情報をご案内させていただきます。ご不要の方は右記にチェックをお願いいたします。